

3月の職員オススメ本

「スノウマンの葬列 真々部律香の推理断章」

麻根 重次／著 角川春樹事務所

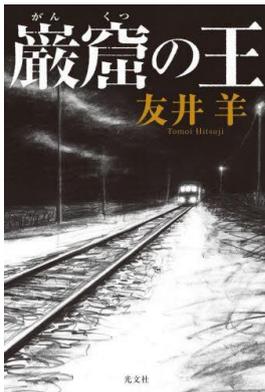


雪山の遭難遺体にいくつもの雪だるまが載せられている。雪に包まれた街で起こる不可解な出来事を主人公の真々部律香が静かに、そして丁寧に解き明かしていくミステリ作品です。

断章形式の物語は、少しずつ真実に近づく楽しさがあり、読者と一緒に考えながら読み進めることができます。

事件の謎だけでなく、登場人物たちの揺れ動く心情も繊細に描かれており、読み終えたあとにはあたたかな余韻が残ります。落ち着いた時間に、ゆっくりと味わっていただきたい一冊です。是非手に取ってみてください。

「巖窟の王」 友井 羊／著 光文社



1913年8月13日の夜、名古屋市千種町で強盗殺人が起きた。被害者は荷車を引いていた佐藤亀之進。通報を受け警察による捜査がはじまり、証言、目撃情報から付近に住む硝子職人の沼澤一郎と入江潔を連行した。沼澤は『岩ヤン』が首謀者だと白状し、警察は二人とは別の工場で働く硝子職人の岩田松之助を逮捕するのであった。

終始無実を主張し続けた岩田だが、無期懲役の判決で21年以上も過酷な獄中生活を強いられる。出所後、最後まで諦めず再審無罪を勝ち取るまでの岩田の壮絶な人生の物語です。

「ひとり暮らしの栄養手帖」

中井 エリカ／監修 日本文芸社



春、卒業や進学などでひとり暮らしをするにあたり、食生活など様々な不安が多いのではないのでしょうか？栄養といわれると何だか難しいように思いますが、身近な食材の持つ栄養やどう食べたら良いかを知っておくだけでも、自分の未来の身体のためになるかもしれません。

本書では、栄養の基本や簡単な献立、実践しやすい自炊テクニックなどを紹介していますので、ぜひ参考にしてみてください。